

市民とオール野党はひとつ

NO.4 2017.5.3 発行:事務局長 水内基成(広報・酢山 090-4923-0050)



憲法守れ! 今こそ市民と野党の共闘を!

新潟4区で意見交換会開催

3月30日(木)に開催された市民連合@新潟の第6回運営委員会で「新潟市秋葉区9条の会」の板橋育夫さんから標記の取組みが報告され、4区の経験を全県に広げることを確認しました。

〈これまでの経過〉

- ・「秋葉区9条の会」は憲法改正国民投票で勝つためには秋葉区有権者7万人の少なくとも2万票を取る必要があるとの認識で活動に取り組んできた。
- ・3年前の8月に新津駅前「9条の会」「秋葉区平和連」「秋葉区アフリカへ毛布を送る会」「戦争をさせない1000人委員会」の4団体が一緒にビラまき、10.21パレード実施。
- ・2016年に参院選の野党統一候補の決定を求める要請行動。参院選、知事選挙で秋葉区では5000票差で勝利。
- ・2017年1月に4団体代表が集まって衆議院選挙に向けた取組み協議。それぞれから呼びかけ人を選出して「新潟4区意見交換会」を開催。予想を超えて85名で大成功。



発言する市民連合@新潟共同代表の水内弁護士

〈当日の様子〉

- ・鶴巻大陸さん(加茂市9条の会 呼びかけ人)「やりたい放題の安倍政権を倒し、国民主権を見せつけるチャンス。昨年のように4区内の市民と野党が総決起していこう」
- ・水内基成さん(新潟市民連合@新潟 共同代表)「衆院選に向けての市民の要望を共通政策にまとめ上げ、各野党に伝える場づくりに取り組んでいる」
- ・民進党議員の後援会役員(田上町)「今日を契機に一致点を見出すため

に一生懸命やりたい。何が大切か。平和憲法を守り、原発再稼働反対で一致できれば最高だ」

- ・加藤茂さん(秋葉区平和連絡会)「行動を積み重ねてこそ、相手のことが分かり、信頼関係もできる。4区から市民と野党の共闘を発信していこう」

《その後の取組み》

- ・4月3日に4区内の代表者会議を13人の参加で開催。
- ・共同の名称を「新潟4区平和団体連絡会」とし、3名の共同代表を選出。事務所を三条地区労内に置く。
- ・4月25日に15名で各野党事務所を訪問して「野党統一候補の早期実現」を要請した。

市民の思想を弾圧する「共謀罪」に反対！

「共謀罪NO！実行委員会in新潟」結成



「共謀罪」に反対する有識者らが3月29日に県庁で記者会見し、「共謀罪NO！実行委員会in新潟」結成を発表した。「戦争法廃止！総がかり行動in新潟実行委員会」の声明に39人の大学教員、文化人、弁護士が賛同を寄せている。記者会見での発言は下記の通りです。

・県平和センター 齋藤悦男議長「共謀罪は犯罪の実行行為がなく、思っただけで罪になる。実行行為を処罰する刑法の体系を変えてしまう危険な本質がある」

・県立大学 福本圭介准教授「今でさえ、政府の政策に反対すると沖縄の新基地反対運動のリーダー逮捕のように弾圧がある。共謀罪ができれば、座り込みを組織

しようとした（計画）だけで罰せられる恐れがある。市民の自由な活動を委縮させる」

・県立大学 後藤岩奈准教授「治安維持法が最後は戦争反対を唱える者まで処罰したように、共謀罪もテロ対策と言いながら対象を拡大し、国民の監視に使われる」

新潟県弁護士会 緊急開催！！ 共謀罪法案に関する講演会

- 講師 高山 佳奈子さん
京都大学法科大学院教授
- 日時 5月10日（水）18:00
- 会場 クロスパルにいがた
4階映像ホール（新潟市中央区礎町通3ノ町）

野党と市民の共闘で 共謀罪阻止・市民集会

- 日時 5月19日（金）18:15
- 会場 新潟駅・南口広場
- 主催 市民連合@新潟 共謀罪NO！実行委員会in新潟 戦争法廃止！総がかり行動in新潟実行委員会 すべての野党代表も参加！

森ゆうこ・国会内外で闘ってます！

「種子が消えれば、食べ物も消える。そして君も」（ベント・スコーマン）
～安倍独裁の下で進む農業破壊～



米どころ新潟を支えてきた「主要農産物種子法」を廃止する法案が唐突に提案され、反対も虚しく成立してしまいました。戦後、まずは国民をお腹一杯にと、昭和27年に米や大豆、麦等の種子を地域の特性に合わせて安定的に農民に供給するべく、予算の根拠となる法律を国が制定し、各自治体が品種改良、原種・原原種の確保、栽培など、努力を重ねてきた。その代表が「コシヒカリ」であり、期待の新星が「新之助」である。

「種子を制するものは食料を制する」

世界の種子市場は、農薬メーカーが種子会社を買収するなどして寡占が進み、巨大多国籍企業3社がその6割を独占し、農民は遺伝子組み換え種子を農薬とセットで買わされている。

国民の財産である種子を守ってきた法律をいとも簡単に安倍政権は捨てた。

農業者の代表として選ばれた与党の国会議員たちの話には耳も貸さず、規制改革推進会議や国会戦略特区諮問会議など総理のお友達の見解で農業破壊の法案が次々に提案されている。農水委員会で闘っています。